

いわて思春期研究会 平成 26 年度第 2 回研修会 討論内容報告

- 講演はわかりやすいスライドで活動内容もよく分かった。
- 小学校高学年に適している
- サロンは時間的余裕があり、幅広い内容で取り組んでいる。
- 学校現場で親子で講演を聞く機会があればよい。
- 娘と一緒に聞きたかった
- 児童養護施設でもやっているのに感謝したい
- 母と娘 15 組という少ない人数だから内容が踏み込める。母娘で生き方を考える貴重な経験
- お産を扱わなくなったら、患者さんの話をじっくり聞けるようになった。小さいときからの継続的な教育が必要。生まれてから老いるまでの女性に寄り添っていかなければならない。月に 1 回「心と体のバランス塾」をやっている。月経の悩みの相談もしている。(助産師)
- 女性の体を知らない女性が多い。各世代に教えていかなければならない。
- 学校の講演後、希望者に親子で聞く機会を設けて好評だった。
- 秋田では思春期教育が必須になっているが、岩手では校長の裁量で行われており、継続してやられていない。
- 中学生のライン使用に関しては、親の問題意識が低く、安易にスマホを与えている。学校、県、国という大きなところで、問題に取り組まないと解決は難しい。
- 現在の初潮教育は小学校 3 年生で行われているが時期の検討が必要ではないか。
- 講演は会員の活動がわかりよかった。互いに連携を取り、思春期研究会を窓口に適材適所の講師を送るようにできればよいと思う。
- 3・11 を踏まえ講演すべき。父子家庭、両親を亡くした子などにどのように対応するか検討が必要。支援物資で羽なしナプキンが余った理由は、使ったことがないから。伝える人を増やすべき。
- 男子にも学んでほしい。
- ライン使用について NTT でアクセスブロックすべき。
- 当研究会より、子供たちの現状を県教委に伝え、改革していく。
- ピアの活動が中止してしまったのは残念。育成が必要である。
- 子どもたちが自由にいつでも行ける、自分の体について、生き方について学べるような施設があればよい。
- ラインに関する勉強会は必要である。

○参加者感想です。

- ・丁寧な月経教育はこれからも続けて下さい。いろんな環境の子どもがいますが、全部に配慮すると身動きがとれなくなるので、会のスタンスを真ん中に置いて続けて下さい。
- ・月経を肯定的に受け止めるために必要なことを自分なりに考えました。月経が訪れたことを周囲の人、特に母親が喜ぶことはもちろんのこと、子供を産み育てることができる存在であることに喜びを感じることができる心の状態が、月経を嬉しく感じる元になると思います。だから、性教育で子供を産み育てる「女性」がとても尊いことや、虐待などを受けていても、一人の自律した母親とは異なる一人の存在として、一人の人間として生まれてきたことを感じ、自信を持って大人の女性として人生を再スタートできるきっかけに性教育がなったらいいと思いました。
- ・途中参加でした。今思春期の子ども達の事件が多発しています。思春期研究会の役割がますます大きくなってきていると思います。皆で話し合うことはやはり良いですね。
- ・グループワークで思春期教育について話し合われたが、依頼を受けて適時講師を派遣できるシステムはとてもよいと思う。ラインについては、学校側の対応も含めて、岩手のあり方、方向性を見つけて行かなければならないと思います。中高生も含めた集まりもいいのではないのでしょうか？
- ・これからのいわて思春期研究会の方向性を感じることができました。いわてにおける思春期教育の依頼をゲートウェイとして受け取り、配分する役割へ。LINEなどメディアリテラシー教育のひながたを作成し、県教委に逆提案するくらいになれば良い。初経教育は男子にも必要。いわて塾を復活させたい。
- ・サロンの対象は、女性だけでなく、男子も教育する時代であると感じた。何も知らないまま大人になっていく。生まれて来てくれてありがとうを伝える性教育から、「私は何で生まれてきたのか」「自分は何？」が分からない現状なので、ここの部分を解決していくべき。初めて参加しましたが、他職種の方々と話す機会があれ勉強になりました。
- ・いわて思春期研究会を講演依頼する窓口として機能させる（教育部のような部会の設立）案はとても良いことと感じました。一人親世帯の増加、発達の子どもの増加という現状がある中、時代・現状にあわせた教育は重要であるので、LINEのこと、高校生の生と性に関する調査の勉強会、楽しみにしています。ポピュレーションアプローチとして若い子（ピア）を育てていくことも必要とも思います。

- ・ハッピーバース研究会の活動は月1回の定例会も含めて素晴らしい活動だと思いました。いわて思春期研究会では、県内の講演依頼を整理し、適切な人材を派遣できるようなしくみを作る必要があると思います。そろそろこれまでの活動内容を統括し、今後の課題を整理する時期だと思います。今後の活動の方針を修正していきましょう。
- ・初めて参加しましたが、活発に活動されている様子が分かりました。いろんな分野の方が所属しているんだなあと感心しました。研修会(ハッピーバース)の内容は分かり易く、自分がもう少し若かったら娘と一緒に参加できたと思います(参加したかった)。グループ情報交換も皆さんの意見が聞けて、人脈も広がった感じです。人脈を活用したスキルアップ研修が出来るかなって感じも持っています。
- ・お二人の話題提供を受け、新たな気持ちで性教育に取り組みなければと思っております。女性の道徳性の発達が他との関係性の中で発達すること、女性が女性として生きることの喜びが伝わるようにできればと考えている。初経教育の大切さを感じた。ハッピーバースの活動を小学校の教育の中に組み込めたならよいのではないかと思います。今いる自分を大切にするための学習ができればと思いました。
- ・特に小学校の教育には、いわて思春期研究会も一つの窓口になって講師派遣をしていくようにしてはどうでしょう(ハッピーバース etc. と連携して)。盛岡市医師会では思春期の担当から思春期講演の依頼を各学校に出しています。これと連携してはどうでしょうか。LINEについてもっと勉強しましょう。
- ・今日の感想 母娘で学ぶ月経教室等、福島先生の講義は大変参考になりました。非常に大切な事だと思いますので、多くの方に知らせ、広げてほしいと思います。「ハッピーバース研究会」の皆さんの熱心な研究心に、いつも素晴らしい事と思います。具体的な内容で大変分かりやすい講演でした。そして何よりも、常に新しい事を学び、研究して実践していく事は素晴らしいと思います。まだまだ多くの問題がたくさんありますが、色々と教えて下さるような気がします。
- ・講義『初経教育』について理想的な形だと感じた。特定少人数からもっと輪が広がってほしいと思った。白井先生の提案が実現できたら素晴らしいと思った。ラインについては、親から与える責任に戻って考えていく必要があると思う。
- ・自分の身体のことなのに、知らないことばかりで、思わず画面に食い入ってしまいました。参加した母娘の方々は、これから生きていく上で、きっと気持ちが楽になったのではないかと思います。皆さんと会って話すことの良さを感じました。